

# 地震!! そのときどうしますか!?

## 家の中では?

### まずはわが身の安全

揺れを感じたら、丈夫な机やテーブルの下に身を隠します。身近なクッションなどで落下物から身を守りながら、家具の少ない部屋の安全な場所に移動しましょう。またガラスの破片などでケガをしますので、はだして歩き回らないようにしましょう。

### 火の始末

火を消すチャンスは、3度あります。

- ① グラッときた数秒間
- ② 揺れが収まったとき
- ③ 出火後1~2分以内

小さな揺れでも、火を消すことを習慣づけましょう。



### 出口の確保

地震によって玄関など通常の出入口が変形してしまい、外に出られない場合があります。落ち着いてドアや窓を開放しましょう。

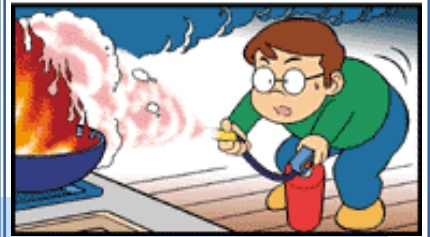
### 水の確保

飲料水の確保も大切ですが、消火用水や生活用水も必要です。日ごろからお風呂に貯め置きをしたり、ペットボトルの水を備蓄するなど、水の確保に努めましょう。



### ● 消火器の使い方

- 1) 安全栓を引き抜く
- 2) ホースを外して火元に向ける
- 3) レバーを握る



### ● 地震に強い部屋づくり

日ごろから家具類の配置や転倒防止措置によって、家の中に安全な空間を確保しておきましょう。

● 背の高い家具などは転倒防止器具で固定する。

● 積み重ね家具は上下を固定する。

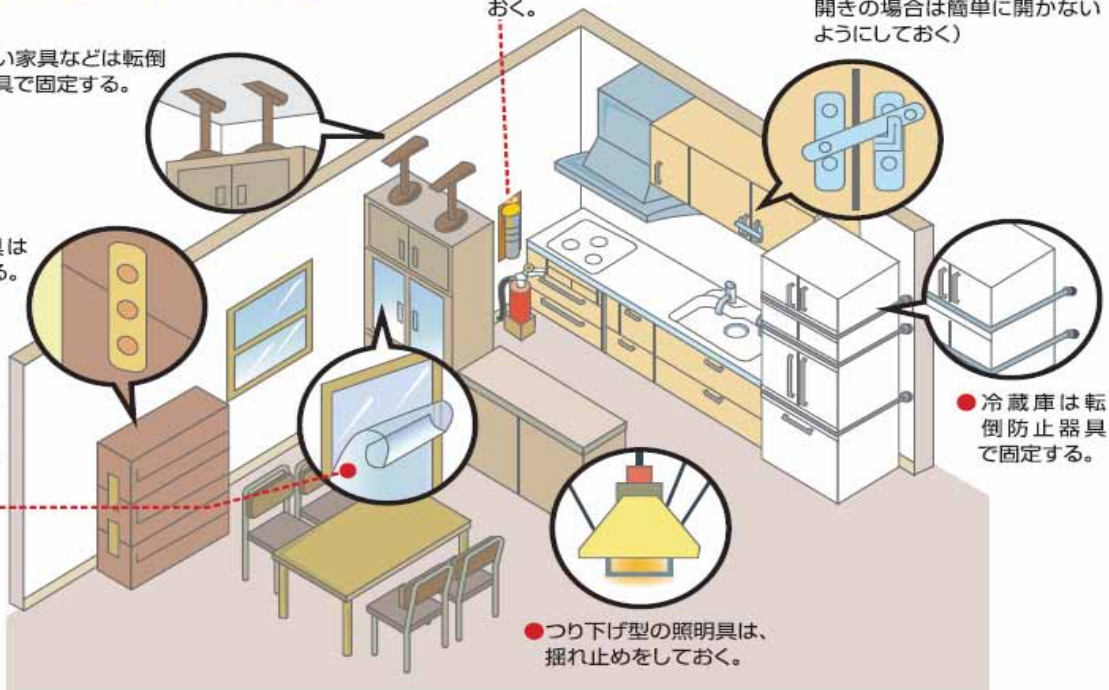
● 窓、食器棚、書棚などのガラスには、飛散防止フィルムを貼っておく。

● 懐中電灯とスリッパなどを手の届くところに置いておく。

● 観音開きよりも引戸型の方が中の物が飛び出しにくい(観音開きの場合は簡単に開かないようにしておく)

● 冷蔵庫は転倒防止器具で固定する。

● つり下げ型の照明具は、揺れ止めをしておく。



テレビ、ラジオなどから正確な情報を得て行動することが大事です!

## 川崎消防団では、消防団員を募集中です!

地域を守る! 熱いハートのある方を募集しています。

お問い合わせ: 川崎消防署予防課 TEL 223-0119

